

一般国道6号 日立バイパス

事業概要

- 日立バイパスは、茨城県日立市河原子町から田尻町を結ぶ全長10.4kmの一般国道6号のバイパスです。日立市内を走る一般国道6号は市街地を南北に縦断し、工業都市日立市の発展を支える産業道路としての機能を担っています。
- 市域の約2/3の二が山地という自然条件から市街地と工業地帯が海岸線に沿った低地部に集中しているため、一般国道6号は市民の生活道路として、また通過交通を処理するための道路として交通が集中し非常に混雑しています。
- 本バイパスは、産業道路としての機能を損なうことなく交通を分散させて慢性的な交通渋滞を緩和し、複数の通過交通路を確保することで、現道の一般国道6号および周辺生活道路の安全性を高めていくことを目的としています。
- 平成19年度は鶴首～旭町の1.6kmの供用を予定しています。

期待される効果

- ・バイパスへの交通分散による交通渋滞の緩和
- ・走行性の高いバイパスへの交通転換による交通安全性の向上
- ・国道の混雑を避け生活道路に進入する通過交通を排除し、生活道路の安全性を向上

整備箇所位置図



現道の状況



一般県道 紅葉石岡線

事業概要

- 一般県道紅葉石岡線は、鉾田市から石岡市を南北に結ぶ、重要な幹線道路です。
- 鉾田市紅葉から小美玉市上吉影地内は、現道幅員が5.0mと狭く屈曲しており、また、歩道未整備区間であることから、円滑で安全な交通に支障をきたしている状況にあります。
- 平成21年度の茨城空港の開港により、当路線もアクセス道路として交通量の増加が見込まれているため、歩道整備による歩車分離を実現し歩行者の安全を確保するとともに、車道拡幅による交通流の円滑化を目指します。

期待される効果

- ・歩道整備による歩行者の安全性向上
- ・車道拡幅による交通流の円滑化

整備箇所位置図



現地の状況

歩道がなく歩行者の安全性が確保されていない



すれ違いの難しい狭い車道幅員

茨城県の道路整備状況

H19年度に完了予定の
道路事業・施策

都市計画道路 五浦海岸線

事業概要

- 五浦海岸線は、国道6号から(主)埼大津港線へ至る大津港市街地環状道路の一部をなす道路で、周辺地域の人々の日常生活を支えるとともに、県北の海岸美を代表する五浦海岸や天心記念五浦美術館をはじめとする観光地を支援する道路として計画されました。
- 国道6号から天心記念五浦美術館までの約1.6kmについては、平成9年度に部分供用しており、残る約0.3kmについて平成19年10月2日に供用開始します。
- 当路線は観光地の道路として“おおらかで美しい「日本の道」景観の形成”を基本テーマに掲げ整備をすすめています。

期待される効果

- ・市街地から国道6号へのアクセス性向上、渋滞緩和
- ・県北地域の文化、観光施設の支援と、地域活性化

整備箇所位置図



整備状況等

供用区間の状況



五浦美術館



北関東自動車道

事業概要

- 北関東自動車道は、茨城県ひたちなか市から群馬県高崎市に至る約150kmの高速自動車国道で、東北道・関越道・常磐道の3つの高速道路と連絡します。
- 大型流通港湾である“常陸那珂港”や“茨城空港”、さらには草津温泉・世界遺産である日光・ひたち海浜公園などの観光スポットを結び、北関東地域における物流・総合開発推進の基盤としての役割を果たします。
- 平成18年度は各種工事を実施しました。
- 平成19年度は友部IC～笠間西ICおよび真岡IC～宇都宮上三川IC、伊勢崎IC～太田ICの供用を予定しています。

期待される効果

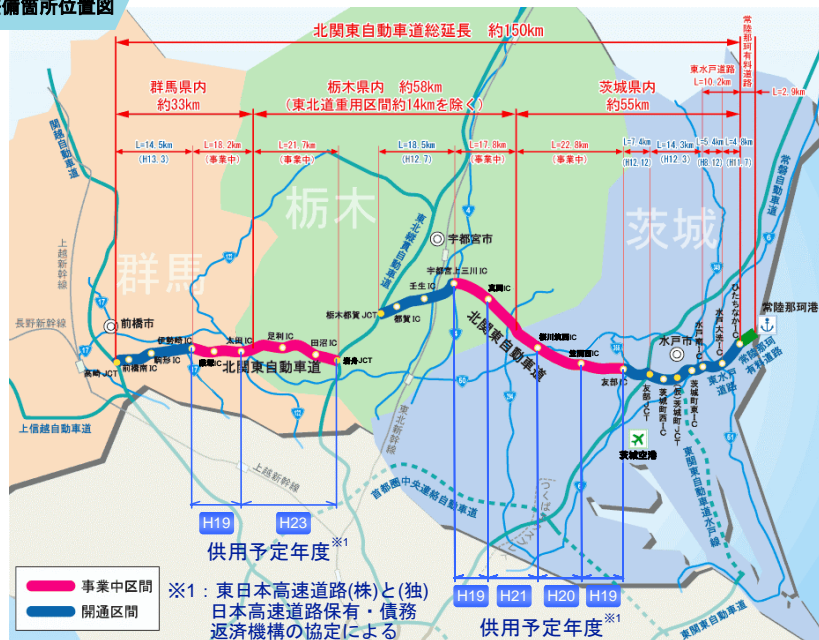
【友部IC～笠間西IC開通時】

- ・30分以内で高速道路を利用できる人口が約5.6万人増加
- ・桜川市役所～茨城県庁までの移動時間が15分短縮

【全線開通時】

- ・筑西市が常陸那珂港1時間圏に
- ・水戸～宇都宮間が1時間40分⇒1時間に
- ・水戸～前橋間が4時間⇒1時間50分に

整備箇所位置図



● 事業中
● 開通区間

※1: 東日本高速道路(株)と(独)日本高速道路保有・債務返済機構の協定による